

## 6ねんせいのおにいさん

<前半>

1年生のけんたさんは、毎日、6年生と一緒に掃除をしています。

今日も、6年生のしんじお兄さんがけんたさんの掃除場所を手伝いに来てくれました。

「けんたさん、ここ、もう少し、はいてね。」

「ほうきの持ち方はこうだよ。」

「見ててね。こうやってはくんだよ。」

しんじお兄さんは、けんたさんに掃除の仕方を細かく教えてくれます。

けんたさんは、掃除をしているだけなのに汗びっしょりです。

(ふう、つかれたなあ・・・)

けんたさんは、しんじお兄さんが見ていない間、近くにあった壁にもたれて休憩しました。

その間もしんじお兄さんは、一生懸命掃除をしています。

けんたさんは、ぼーっとお兄さんを見ていました。

次の日、しんじお兄さんは掃除場所に来ませんでした。

掃除場所がいつもより広く感じます。

いつも教えてもらっていたことを思い出しながら掃除しますが、なかなかうまくできません。

いつもよりとっても疲れるけれど、掃除場所はあまりきれいになりません。

掃除が終わらないまま、5時間目のはじめのチャイムがなくなってしまいました。

けんたさんは、毎日来てくれるしんじお兄さんの顔を思い出しました。

<後半>

その次の日、しんじお兄さんが掃除場所にきました。

「けんたさん、昨日はごめんね。急な委員会の集まりがあって来られなかったんだ。」

けんたさんは、はっとしました。

そして、しんじお兄さんにこう言いました。

「-----」

しんじお兄さんは、にっこり笑ってくれました。